
Ruby biz Grand prix 2018 「Device Technology 賞」を受賞

SCSK九州株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長:宮下 英之、以下 SCSK九州)は、Ruby biz グランプリ実行委員会(事務局:島根県商工労働部産業振興課)が主催する「Ruby biz Grand prix 2018」において「Device Technology 賞」を受賞しました。

「Ruby biz Grand prix」は今年で4回目となり、Ruby を活用して新たな価値を創造し、さらなる飛躍を期待できるサービスに与えられます。今回は、過去最多の40組の応募がありました。



SCSK九州は、IoT や組込システム向けの軽量なRuby 言語処理系であるmruby(エムルビー)を、産学官のプロジェクトとして、Ruby 言語の生みの親であるまつもとゆきひろ氏らと共に開発しました。2012年にオープンソースとしてmruby 処理系を公開後、2017年にはmruby-IoT 開発フレームワークの「Plato(プラトン)」をリリースしました。「Plato」を使うと、いくつかの簡単な質問に答えるだけでIoT アプリケーションを生成できます。

このたび、Bluetooth5 を内蔵したGPS・センサーデバイスとLoRaWAN 中継機、GUIドラッグ&ドロップでアプリを自動生成する「Plato2-IoT プラットフォーム」を経済産業省のプロジェクトとして開発しました。これは電柱やコンテナの管理、流通トレース、子ども・老人の見守りなど、多用途に活用される予定です。SCSK九州は、この取り組みが評価され「Device Technology 賞」を受賞することができました。

これからもSCSK九州は、mruby を通して、“本当に使えるIoT”を提供していきます。



【関連情報】

Ruby biz グランプリトップページ: <https://rubybiz.jp/>

Plato トップページ: <http://plato.click>

mruby.org: <http://mruby.org/>

SCSK九州 mruby紹介ページ: <http://www.scsk-kyushu.co.jp/service/mruby/>

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK九州株式会社 組込システム部 石井

TEL:092-686-7373/E-mail: mruby@scsk-kyushu.co.jp